

冬季の感染性胃腸炎に注意

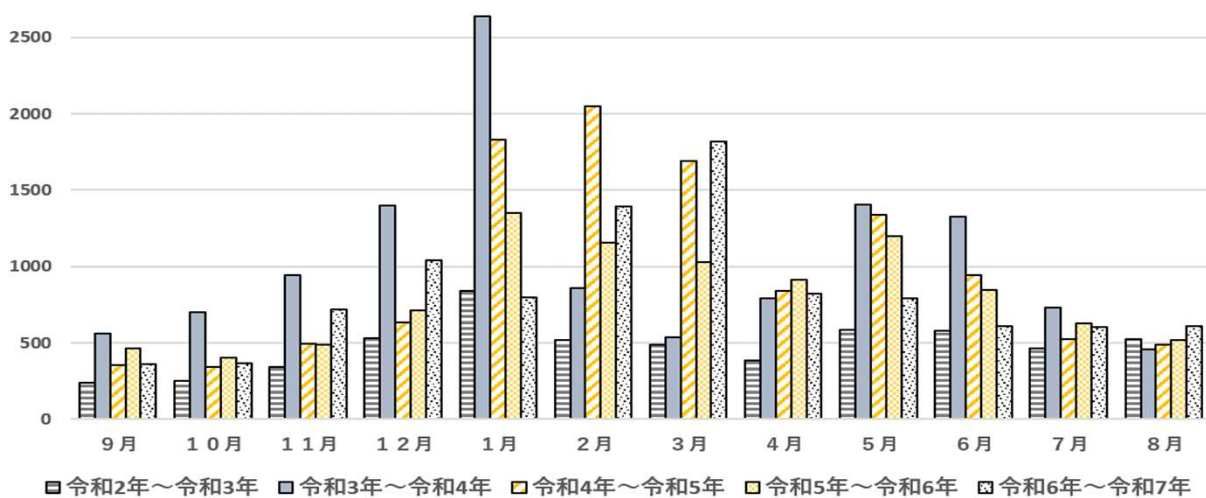


「感染性胃腸炎」とは

ノロウイルス、サポウイルス、アデノウイルス、ロタウイルス、細菌等を原因とする感染症です。患者は1年を通して発生していますが、毎年秋から冬にかけてノロウイルスやサポウイルスによる患者が増加します。

健康な成人では無症状や軽い下痢で終わることもありますが、小児や基礎疾患のある高齢者では重症化しやすいため、注意が必要です。

宮城県における感染性胃腸炎発生状況(過去5年月別発生状況)



感染性胃腸炎の感染経路・潜伏期間・症状

- 感染経路** 病原体が付着した手で口に触れることによる感染（接触感染）
汚染された食品を食べることによる感染（経口感染）
- 潜伏期間** 多くの場合、2～3日ですが、ノロウイルスは12～48時間です。
- 症状** 発熱、下痢、吐き気、嘔吐、腹痛等がみられます。
子どもや高齢者は重症化しやすく、注意が必要です。

予防するためのポイント

手をよく洗う

トイレの後、食事の前、調理の前には石けんと流水で手をよく洗う。

調理器具の消毒

まな板、包丁、ふきん等はその都度洗剤で洗い、熱湯等で十分消毒する。

食品の取扱い

食品は十分に洗い、中心部までよく加熱(85～90℃で90秒以上)する。

下痢などの有症時は・・・

- ・早めに医療機関を受診しましょう。
 - ・入浴はできるだけ湯船に入らず、シャワー等で済ませましょう。
 - ・バスタオルや手拭きタオルは共有せず、個別のものを準備しましょう。
 - ・嘔吐物や便の処理は、使い捨てマスクや手袋を着用の上、飛び散らないように処理し、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系消毒剤）で消毒しましょう。
- ※アルコール系消毒剤では十分な効果は期待できません。



〈関連リンク〉

- ・厚生労働省「感染性胃腸炎（特にノロウイルス）」
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/norovirus.html
- ・国立健康危機管理研究機構「感染性胃腸炎」
<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ka/intestinal/010/intestinal-intro.html>